2022年11月10日
環境安全部

安全衛生だより第１１号

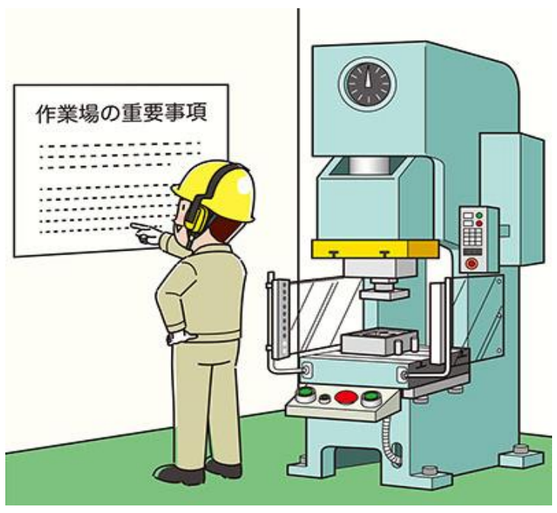
１２月全国行事

１）冬の省エネ総点検の日	１２月１日
２）大気汚染防止推進月間	１２月１日～３１日
３）地球温暖化防止月間	１２月１日～３１日
４）年末年始無災害運動	１２月１日～１月１５日

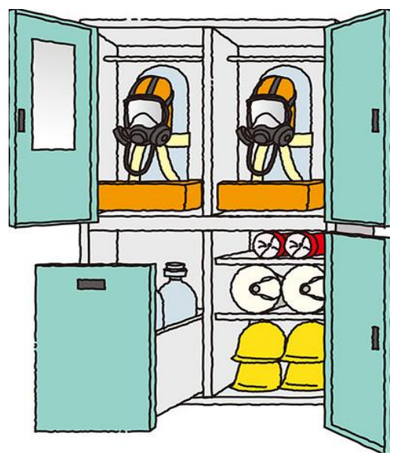
安全・衛生・防災の心得　：　作業開始時、終了時の安全作業心得

今年の８月に静岡県で、幼稚園の子供をバスに置き去りにして熱中症で死亡させた痛ましい事故がありましたが、福岡県でも昨年に同様の事故が発生しています。いずれも引率の運転者や職員が、また養育開始に当たって担当の職員が園児の人数や状況を確認しなかったことなどが指摘されています。調査によると、同様の事故の「ひやり体験」は、約３０％の職員や園で経験しているそうです。幼稚園等の事故に限らず私たちの職場でも、作業の始めと終わりには何かとトラブルが発生しやすいものです。気持ちを引き締めて次のことの徹底を図りましょう。

◆作業開始前の心得
①正しい服装･保護具をきちんと身に付ける
②作業に集中できるよう気分を入れ替える
③ミーティング･体操をまじめにしっかり行う
④ムダ･ムラ･ムリのない作業段取りを練る
⑤機械や工具などの作業前点検をシッカリ行う
⑥安全･衛生装置等の性能を確かめる、など。



◆作業終了時の心得
①落ち着いて、確認しながら慎重に行動する
②取り扱った機械等の手入れ、掃除を行う
③工具･用具等は定められた場所に戻す
④火の始末は特に念を入れてチェックする
⑤スイッチ等の状態は指差し呼称で再確認する
⑥｢終わり｣を急がないで、慎重に決められた確認等の作業を行う、など。



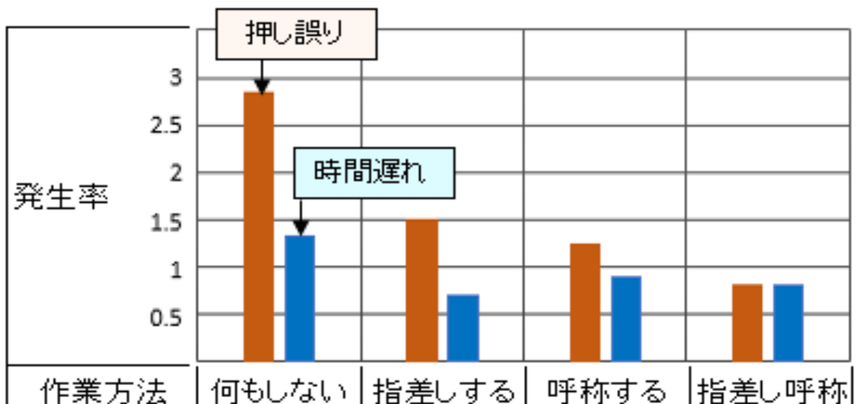
安全・衛生・防災の心得　：　「指差し呼称」を効果的に

「指差し呼称」は、誤操作、誤判断などのエラーを防止する有効な手段として、各業種の多くの職場で広く採用されていますが、最近、呼称の声や指差しの動作が小さくなってきて、せっかくの指差し呼称の効果が発揮されていないケースが見受けられます。指差し呼称の効果的な方法は、「手と腕を動かし」・「指で指し」・「大きな声で呼称」する事です。こうすることによって次のような効果が発揮されるものです。

①指差し動作や呼称に伴う筋肉運動が、脳を刺激（活性化）する。
②指差し動作により、必要な対象に注意が向けられる。
③視覚情報だけでなく、発声による聴覚情報も大脳の知覚領域に入力・統合されるので、確実な判断が導かれる。
④指差し呼称動作の生む時間的な余裕が、無意識的・自動的・短絡的な反応を防ぐ、などです。

従って、小声で、指を少しだけ動かすやり方では、指差し呼称の効果が発揮されません。なお、呼称する言葉は「スイッチ、よし」ではなく「スイッチオンよし！」。「温度よし」ではなく「温度６０度よし！」というように、呼称する表現を具体的にするほど、指差し呼称の実効が上がります。基本に戻って「指差し呼称」をやりましょう。

信号確認実験における指差し呼称の効果
（鉄道総合技術研究所）



作業方法	何もしない	指差しする	呼称する	指差し呼称
誤り発生率	2.85	1.5	1.25	0.8
同上指数	100	53	44	28

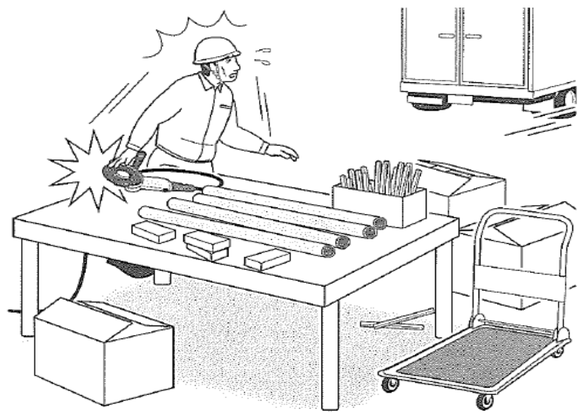
実験条件：
5個のランプのうち1個が付いた時に、そのランプに対応するボタンを押す、という実験を、4通りの実験条件について24名の被験者が100回繰り返したときの結果

他社　事故・災害事例から：作業台が乱雑、刃が台からはみ出し

（１）災害発生状況

作業者（２１歳、経験２年）が加工場で可搬式研削盤（グラインダー）を用いて鋼材部品の面取り作業を行っていた際、部品搬入用のトラックが入ってきたため、グラインダーのスイッチを切って作業台の上に置きトラックを誘導しようとしたとき、惰性で回転中のグラインダーの刃に触れて、右手第２・３指を切創し、病院で縫合治療を受けました。

（２）災害発生原因と補足事項



①スイッチを切っても、グラインダーの刃が惰性で回転していたこと。
②グラインダーの回転停止を確認しないまま、次の行動に移ろうとしたこと。
③刃が回転中のグラインダーを手や身体が接触しやすい場所に置いたこと。
④作業台の上や周辺が乱雑で、グラインダーを安全な場所におけなかったこと、など。

（３）再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。
①グラインダーの置き場所は、安全で作業しやすい場所を定めて置くようしつける。
②グラインダーに限らず、回転物はスイッチを切っても惰性で動いており、想像以上に危険であることを実物等で認識させる。
③金属部品等を加工・取り扱う作業台並びにその周辺の３Ｓは、基準と方法を定めて実施する、など。

●環境安全部より：危険を伴う作業を行う場所の安全確保を高めると共に、安全衛生教育の実施も行い適切な行動を徹底するようにして下さい。当社、構内作業安全基準書（改訂第２版）の中で、研削作業について記載しておりますのでご参照下さい。

安全衛生ことわざ・格言

下手(へた)は上手(じょうず)の手本　～仕事の決めては安全衛生～

「下手は上手の手本」とは、仕事の下手な人が上手な人を手本にするのは当然ですが、上手な人にとっては下手も参考になる、という意味です。「上手は下手の手本、下手は上手の手本」とも言います。仕事が上手と言っても、それは下手からの積み重ねで上手になったはずです。しかし、仕事が上手になると、基本を忘れがちになります。したがって、ベテランと言われる人でも、時々新人がモタモタしている動作や手順の中に、仕事の基本や原理を見出すことができるので、下手も上手の手本になるということです。

「下手の真ん中、上手の縁矢（ふちや）」ということわざもあります。弓の矢を射るのに、下手な人が的の真ん中を射抜くこともあれば、上手な人が縁しか当たらないこともあります。

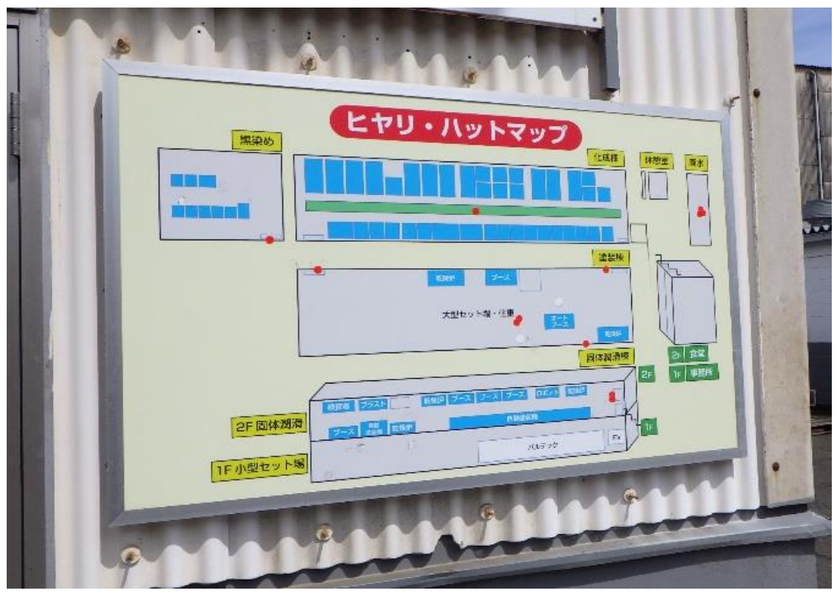
職場の事故や災害は、仕事の上手下手に関係なく発生することがありますが、最近では仕事の上手下手を決するのは「安全衛生」だとも言われています。安全衛生を使って、上手の手本になる仕事を行っていきましょう。事故や災害の防止は、皆がそれぞれの立場・持ち場で、謙虚に真剣に取り組んでいくことが肝要です。

当社　良い事例（抜粋）

●平塚第二工場（防錆工場）

固体潤滑塗料の撹拌（保護カバー設置）

ヒヤリハットマップの掲示



ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	工場内の処理品置き場
何をしている時に	製品をパレットに載せて移動させている時
どうなった	パレットの隙間に足が引っかかり転倒しそうになった

以上